

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	日中じっとして動くことなく過ごしている方が増えている	個々の活動プログラムを作り、活動的、刺激のある生活を送れるよう援助する	利用者個々に必要な活動を選定し、その活動に 取り組めるための条件づくりを進める。 (週一ボランティアの確保、活動に必要な器材や 道具をそろえる)	12ヶ月
2	6・7	身体拘束、虐待と思われる言動がまだ時々みられる	職員間で徹底検証することで身体拘束、虐待 と思われる言動をゼロに近づける	さまざまな資料や具体事例をもとに毎回職員会議で話し合い、問題意識を共有する 全職員から防止のための提言をしてもらう	6ヶ月
3	41・43	水分摂取量がなかなか増やせない	ひとり1000ml摂取を目標に摂取量を増やす	おむつはずしの取り組みの要といわれる水分 摂取量の確保について、昨年に引き続き視察や座学の研修を進め、個々の利用者に合わせて 摂取量の増加のための創意、工夫を行う	12ヶ月
4	44	依然として便秘が解消しない利用者が多い	さまざまな取り組みを通して便秘の解消ないし軽減をはかる	水分摂取と連動させ、昨年からの取り組みを継続する。また運動を有効なものとするための器材の購入も検討する	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。